

ART OF IBARAKI

The Museum of Modern Art, Ibaraki

茨城県近代美術館

表紙では茨城県近代美術館所蔵の茨城県にゆかりのある作家による作品を紹介しています



小川 芋銭 おがわ うせん
慶応4年(1868)ー昭和13年(1938)

「太古香」 たいこう

昭和5年(1930)
紙本・彩色・軸装
68.2×106cm
茨城県近代美術館蔵

牛久沼の畔に暮らし、河童の絵で知られる芋銭ですが、自然を描いた作品も多く、この「太古香」では福島の新潟湖を描いています。新原湖は明治21年(1888)、磐梯山の噴火でできた湖のひとつです。この噴火による死者は477人を数え、新原村が水没するなど、明治の日本が初めて体験する大規模自然災害でした。噴火からおよそ40年を経て、芋銭はかつて村ひとつ飲み込んだ湖を、生い茂る木々と共に描きました。作品の中では災害の恐怖などとは無縁に、山や湖面が水蒸気に覆われ、裏磐梯の自然が幻想的な光景を見せています。

主な内容

- ▼本会が創立60周年を迎えました
- ▼建設フェスタ2016開催
- ▼県が新たな格付け基準を公表

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

関係者迎え、盛大に節目祝う

創立60周年記念式典を開催

本会は昭和31年7月に社団法人として認可を受け、本年で創立60周年を迎えました。11月30日には、水戸プラザホテルにて記念式典を挙行之、橋本昌県知事や小川一成県議会議員など多数の来賓や関係者が参加。現在の協会の礎を築いた功労者に対し、感謝状を贈りました。式典後には祝賀会で懇親を深め、チャリティー公演「家族に感謝! 伝統芸能」を開催。津軽三味線や唄、踊りで式典に花を添えました。



来賓や関係者など130人が参加しました



岡部会長



橋本県知事



小川県議会議長



海野県議会議員

冒頭、岡部会長は「建設業界の発展と地位向上を目指し、幾多の困難と障害を乗り越えてきた」と、これまでを振り返りながら「会員企業の育成、県民に信頼される建設産業に向け研さんを重ね、県内建設業界のリーダーとして県勢発展に貢献していく」と抱負を述べ、理事を10年以上務めた12人の功労者に感謝状と記念品を手渡しました。

来賓祝辞では、橋本知事が協会活動に敬意を表した上で「災害に強い県土づくりには皆さまの力

が必要」と今後の活躍に期待を込めました。その後、小川県議会議員と海野透自民党県連会長代行からお祝いの言葉をいただきました。

式典後の祝賀会では親睦を深めるとともに来賓や関係者に感謝を伝えました。続けて開催したチャリティー公演では、津軽三味線奏者の高橋竹童氏、加藤恵理奈氏、舞踊の速水映人氏が津軽三味線や唄、踊りを披露。一般招待客も含めた660人の観客を大いに湧かせました。

研さん重ね、県勢発展に貢献

未来に向け、一層の飛躍誓う



高橋水戸市長の発声で乾杯し、さらなる飛躍を誓い合いました



理事を10年以上務めた功労者を表彰しました

創立60周年記念チャリティー公演

「家族に感謝! 伝統芸能」



高橋竹童氏が津軽三味線で観客を魅了

- 功労者名簿（敬称略・順不同）
- | | | |
|-------|-------|-------|
| ◆松崎武夫 | ◆後藤正一 | ◆伊東功雄 |
| ◆飯島康司 | ◆細田正治 | ◆篠崎弘人 |
| ◆後藤光一 | ◆池田輝雄 | ◆小倉弘明 |
| ◆染谷英夫 | ◆新井淳一 | ◆杵田 寛 |



速水映人さんが踊りを披露



加藤恵理奈さんが唄で会場を盛り上げました



一般招待客を含め660人が参加しました

親子連れなど約2万人が来場

建設フェスタ2016開催

10月30日(日)笠松運動公園

本会をはじめとする県内の建設業関係団体は10月30日(日)に「建設フェスタ2016」を、ひたちなか市の笠松運動公園屋内プール西側特設会場で開催。当日は天候にも恵まれ、県内外から来場した親子連れなど約2万人に、建設業の魅力や公共事業の必要性などをアピールしました。

好評を博しました
▶恒例の上棟式にはたくさんの子どもが集まり



上棟式

絵画表彰式



▲建設現場を描いた627作品から5人を表彰しました

親子競演丸太切り



現場で輪投げ



▶集まったキャップは世界の子どもたちのワクチン代となります

ボトルキャップアート



理事会で3社の入会を決定

セミナー開催など
上半期事業も報告



岡部会長

本会は11月9日、水戸市の県建設技術研修センターで理事会を開催し、上半期の事業報告などを行ったほか、3社の新規入会と顧問の選任を決議しました。

あいさつで岡部会長は「本年度から新たに人材開発委員会を設置し、担い手確保・育成に尽力している」とした上で、理事会について「上半期の事業報告や決算などについて報告する」とあいさつしました。

議事では、新規入会として愛功建設(株)(大洗町)、環境保全事業(株)(東海村)、(有)門井建設(下妻市)



の新規入会を決定したほか、組織の充実を図るため小川一成県議会議長を顧問に選任しました。

事業報告では、本年度新たに人材開発委員会を設置し、雇用管理改善促進事業としての啓発セミナーを実施したことや7月に大洗町で北関東3県合同会議を開催したことなどを説明。最後に下半期のスケジュールを確認しました。

雇用改善へ尽力を

優良企業や標語を表彰 平成28年度「建設雇用改善推進集会」

本会は11月15日、建設雇用改善推進集会を県建設技術研修センターで開催し、約200人が参加。雇用改善へ功績のあった企業や優秀標語などを表彰するとともに講演を行い、雇用改善へ一層尽力することを誓い合いました。

冒頭、岡部会長は「人材開発委員会を設立し、雇用環境改善に向けた取り組みを推進する」とあいさつ。来賓では、厚生労働省茨城労働局の大谷真司職業安定部長や県商工労働観光部の吉見剛次長が祝辞を述べました。

建設雇用改善優良事業所、優秀標語、建設業退職金共済制度普及協力者の各表彰を執り



菅原建設が知事表彰を受賞しました

行った後には、静岡大学の小和田哲男名誉教授による特別講演「戦国武将に学ぶ～真田三代生き残りの戦略～」を行いました。

受賞者(敬称略、順不同)

県知事表彰(建設雇用改善優良事業所)

菅原建設(株)(水戸支部)

県建設業協会会長表彰(雇用改善に関する募集標語入選者)

◆最優秀賞 宮澤則子(三国屋建設(株))

◆優秀賞 吉村修治(株)関根工務店、和田博(株)新みらい

◆優良賞 小村英美恵(株)サンワ興業、宇津野賢市(谷原建設(株))、齋藤周蔵(株)木建設(株)

◆佳作 秋山大輔(株)龍崎工務店、銚田史彦(鈴縫工業(株))、泉川真依子(橋本建設(株))、吉岡昭彦(水戸土建工業(株))、福田勝(成島建設(株))、葛見幸雄(常総開発工業(株))、佐藤絵里佳(株)朝日工務店、松本和美(谷原建設(株))、寺田誠(株)新みらい、飛田茂(樋口土木(株))

勤労者退職金共済機構理事長表彰

(建設業退職金共済制度普及協力者表彰)

(株)羽生工務店(銚田支部)、(株)新井建設工業(境支部)

社保加入義務化／担い手対策や女性活躍を促進

茨城県が新たな格付基準を公表

茨城県土木部監理課は、平成29・30年度における県建設工事請負業者の入札参加資格審査（格付）基準を改正しました。建設工事における全者に対して社会保険等の加入を義務化するほか、主観項目改正では、技術者を実数で評価する方法に変更、CPDS・建築CPDの講習受講履歴にも点数を追加します。女性登用では、新たに「女性職員数が5人以上の場合」と「いばらき女性活躍推進会議の登録企業」へ加点します。申請受付期間は来年1月12日～2月3日で、29年6月1日～31年3月31日まで適用となります。

主観項目における工事成績の項目では、今回は3年間としていた対象期間を過去4年間に拡大。件数に応じた配点（10～60点）を4年間相当分

に見直します。

技術者の項目では、技術者実数に応じて加点する方式に変更。技術者1人当たりの点数は各1点減となり、監理技術者3点、1級技術者2点、基幹技能者1点となります。また新たにCPDS・建築CPDの一定の学習履歴を有している職員の在籍に3点を配点します。

女性の登用では、新たに「常勤の女性職員数（役員および個人事業主を除く）が5人以上の場合」に3点、「いばらき女性活躍推進会議」に会員登録している場合に2点を加点します。



平成29・30年度 茨城県建設工事入札参加資格（格付け）基準の主な変更内容

項目	内容
改正	工事成績 ①件数に応じて10点～60点 ②（工事成績の平均点－65）×10点 （※平均点数が65点超は①+②、65点未満は②） （改正点）対象期間を過去4年間（H27・28は3年間）に拡大する。①の件数を4年間相当分に見直す。
	技術者（県内） ①雇用している監理技術者×3点、1級技術者×2点、基幹技能者×1点 ②CPDS、建築CPDの一定の学習履歴を有している職員が在籍（3点） （※①～②を合わせて上限40点） （改正点）評価対象の技術者実数に応じて加点することとし、技術者1人当たりの点数を各1点減らす。 ②を新たに評価することとし（3点）、①～②を合わせて上限40点とする。
	女性の登用（県内） ①常勤の職員に占める女性職員の比率が25%以上の場合又は常勤の女性職員数が5人以上の場合（ともに役員及び個人事業主を除く。）（3点） ②「いばらき女性活躍推進会議」に会員登録（2点）（※①～②を合わせて上限5点） （改正点）常勤の女性職員数（役員及び個人事業主を除く。）が5人以上の場合に3点加点することとする。 ②を新たに評価することとし（2点）、①～②を合わせて上限5点とする。
継続	優良工事表彰（県内） 評価対象期間は過去3年間 知事（件数×20点）、部長（件数×10点）（※上限60点）
	指名停止 指名停止期間により▲5点～（上限なし）
	監督処分 ①処分の内容に応じて▲10点～▲40点 ②①に加えて、監督処分について経営事項審査で減点されていない場合、指示処分▲21点、営業停止▲43点
	建設業労働災害防止協会加入状況（県内） 加入している場合（5点）
	社会貢献活動（県内） ①茨城県等との防災協定に基づく要請を受けて防災活動を行う建設業者（県10点、国・県内市町村及び入札契約適正化法第2条第1項の政令で定める特殊法人5点のいずれか） ②①のうち、茨城県との防災協定に基づき実際に防災活動を行った者（5点/回）（※①と②合わせて上限30点）
	雇用対策（県内） ①常勤の職員が増加した場合（過去2年間）（5点/人） ②①の増加した職員が35歳未満の若年者の場合、①に5点/人を加算。（※①～②を合わせて上限30点）
	障害者雇用（県内※） 法定義務を超えて雇用している障害者（5点/人、上限10点） ※県外事業者も県内在住の障害者を雇用了場合対象
	環境配慮（県内） エコアクション21、エコステージ、KES・環境マネジメントシステム・スタンダード、茨城エコ事業所の認証等（5点）（※重複加点はしない。）
	子育て支援等雇用環境の整備（県内） 「子育て応援宣言」事業又は「仕事と生活の調和計画」の届出（5点）
	企業立地 平成26年4月1日以降、企業立地に関する情報を県に提供し契約成約通知がなされた場合又は県が分譲する土地を購入し本社等を建設した場合（5点）

※経常JVへの加点について

経常JVについては、真に合併に寄与するものを評価する観点から、前回と同じ組み合わせの場合は、客観点数の加算措置（5%）は行わない。

公共事業151億円 強い県土推進

茨城県 12月 補正予算案

茨城県の平成28年度12月補正予算案がまとまりました。全会計に追加する215億6300万円のうち公共事業費として151億2000万円を計上しました。全額が国補で、このうち一般会計分が135億7800万円となります。関東・東北豪雨関連を含む河川整備事業など「災害に強い県土づくり」に約67億円、TPP対策として土地改良事業に32億5200万円、(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路をはじめとする17カ所の道路整備に21億300万円を配分しました。

12月補正予算案 国補公共事業費 内訳表
(一般会計)

		(単位:百万円)		
区 分		当 初	9月補正	12月補正
国補	土 木	71,623	6,286	9,549
	農 地	10,366	-	3,728
	農 林	3,371	36	301
	企 画	13	-	-
	計	85,373	6,322	13,578

このほか都市計画事業土地区画整理事業特別会計には11億8800万円、企業会計の工業用水道事業には10億4900万円を計上しました。

..... 12月補正予算案主な事業計画箇所

【土木部】▼道路改良=21億300万円(国道118号ほか)▼橋梁補修=8億200万円(国道354号豊水橋〔常総〕ほか)▼道路直轄事業=9億3700万円(東関東水戸線ほか)▼広域河川改修事業=2億1000万円(涸沼川ほか)▼浸水対策特別緊急事業=7億2000万円(恋瀬川ほか)▼河川・総合流域防災事業=3億6100万円(中丸川ほか)▼急傾斜地崩壊対策事業=4億1300万円(東真鍋町12地区ほか)▼治水直轄事業負担金=13億7300万円(鬼怒川ほか)▼港湾建設(常陸那珂港)=4億1000万円▼港湾統合補助事業=3億3000万円

(茨城港大洗工区ほか)▼港湾直轄事業負担金=4億9500万円▼公営住宅建設=2億3500万円(若宮アパートほか)▼土地区画整理事業=3億1400万円(阿見吉原地区)▼流域下水道会計建設改良=4億円

【農林水産部】▼地盤沈下対策事業=3億3100万円(豊田南2期〔利根〕ほか)▼経営体育成基盤整備事業=12億3100万円(幸江崎〔古河・結城〕ほか)▼県営かんがい排水事業=6億5700万円(早井ほか)▼県営畑地帯総合整備事業=14億6100万円(柳河〔水戸〕ほか)

次世代の建設産業戦略学ぶ

茨城県と活性化フォーラム開催

本会は11月17日、茨城県と共同で「建設業活性化フォーラム-次世代建設産業戦略2025-」を県立歴史館にて開催し、協会員など約130人が参加しました。

第1部では、早稲田大学次世代建設産業モデル研究会主宰を務める五十嵐健氏が次世代建設産業戦略について講演。建設産業の見通しを示し、工夫で競争力を強化している会社の例を述べながら、二極化が進む中で勝ち残る策を論じました。

続いて、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課の近藤弘嗣課長補佐が「国土交通省の推進するi-Construction」について、茨城労働局職業



i-Constructionの概要についても説明した

対策課地域雇用対策係の伊藤正男主任が「建設労働者確保育成助成金の活用」について、それぞれ説明しました。

上半期の取組や就職状況など共有

魅力ある職場推進委と建設労働者確保推進委

本会が主催する「若年者に魅力ある職場づくり事業推進委員会」と「建設労働者確保育成事業推進委員会」が11月9日、水戸市青柳町の県建設技術研修センターで開かれ、上半期の取り組みや県下8支部13事業所で実施した雇用改善パトロール、高校生などを対象とした建設現場見学会や現場実習、普通科高校インターンシップの実施状況、雇用管理改善促進事業の取り組みなどを説明しました。

その後、各校が就職状況を報告。真壁高校では5人が建設関係、3人が造園関係へ内定。土浦工業高校では就職希望者の3割程度が建設業へ、水



戸工業高校は土木・建築で45人が内定。水戸農業高校では、就職内定者18人のうち12人が建設業へ進むとの事です。

建設現場の風景を描いた 小中学生の優秀作品

県庁2階に展示しました



本会は、県内の小中学生が建設現場の風景を描いた図画作品を募集。最優秀の5点を10月30日に開催した「建設フェスタ2016」の会場に展示したほか、11月14日から21日まで茨城県庁の2階県民情報センターにて優良賞以上の作品74点を展示しました。作品は夏休みに描かれたもので、小学校57校から509点、中学校18校から118点の応募がありました。

新春賀詞交歓会のご案内

日時 平成29年1月10日(火) 午前11時開会
場所 水戸京成ホテル2階 「瑠璃の間」
(水戸市三の丸1-4-73 TEL029-226-3111)
主催 (一社)茨城県建設業協会、
(一財)茨城県建設技術管理センター
茨城県建設業協同組合

ちよつと一言



あるマンションの住民総会で「マンション内でのあいさつ禁止」が決まったそうです。小学生の子供を持つ親御さんが「知らない人にあいさつされたら逃げるように教えているので、マンション内ではあいさつをしないように決めてください」と提案し、了承されたそうです。「子供にはどの人がマンションの人かどうかは判断できない、教育上困ります」とも。あいさつをするのは社会生活をするうえでの基本だともおもいますが、防犯意識の高まりが、「あいさつ」というコミュニケーションを否定してしまうのでしょうか。世の中の変わりように戸惑ってしまいます。(S)